

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)	良く なっている	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・客は欲しい車には金を出し、成約状況も良い。例年の3月よりも動きがあり、徐々に良かったという印象が強い。
	やや良く なっている	商店街(代表者)	お客様の様子	・国民のマインドは上向きで、一時的な変動があっても、また回復するように感じる。
		一般小売店[土産](経営者)	来客数の動き	・伊勢志摩サミットの効果なのか、マスコミの取材や来客数が、明らかに増加している。
		一般小売店[土産](経営者)	来客数の動き	・伊勢志摩サミットの本番前から、関係者の来訪でにぎわっている。インバウンドやマスコミの取材も多い。
		一般小売店[書店](営業担当)	販売量の動き	・新年度に向けての受注増加で、販売量が伸びている。
		スーパー(店員)	販売量の動き	・お花見シーズンで、飲料、弁当や珍味等が売上を押し上げている。学校が春休みに入り、子供の昼食用の食材を購入する客も見受けられる。
		衣料品専門店[紳士服洋品](売場担当)	お客様の様子	・新入学、新社会人へのお祝いや、新生活に向けた買換え時期で、客の財布のひもも若干緩んでいる。
		乗用車販売店(営業担当)	来客数の動き	・決算期ということもあり、前年末頃と比べると客の動きは良い。ただし、中旬以降は動きが鈍くなっている。
		乗用車販売店(経営者)	来客数の動き	・3月になってようやく客の動きが出てきている。2月まで相当冷え込んでいたので、急に動きが出てきて驚いている。
		その他専門店[雑貨](店員)	お客様の様子	・来客数も増え、ウィンドウショッピングの客も多くなっており、購買意欲は上向きつつある。
		都市型ホテル(支配人)	来客数の動き	・キャンセルも多いが、宿泊予約の入るタイミングが早くなっている。レストランや宴会は、依然として不調である。
		旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・前年同月比で見ると、販売量は少し上向いている。
		旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・個人、団体共に、歓送迎会や卒業旅行を目的とした需要が国内旅行を中心に伸びている。関西の施設を筆頭にテーマパークの新アトラクションやイベントへの関心が高く、多少は金がかかっても楽しみたいというニーズが強い。
		通信会社(サービス担当)	販売量の動き	・光回線の新規申込が増加している。新築物件への引っ越しに伴い、インターネット・電話・テレビを光回線にまとめたサービスの申込が増えている。
		美顔美容室(経営者)	販売量の動き	・2～3月は、ホワイトニング商品のセット販売があるため、販売量が上昇している。
美容室(経営者)	お客様の様子	・客の話では、卒業式や入学式、春休み等のイベントに使う金が増えているようなので、少しずつ景気は良くなってきている。		
変わらない	商店街(代表者)	単価の動き	・購買意欲はみられるが、依然として客単価は低い。単価の低い商品が平均して売れている。	
	商店街(代表者)	販売量の動き	・例年なら新年度に向けて売上が増加する時期であるが、全く伸びない。以前は1年を通じて売上の良い月、悪い月があり、多少なりとも波があったが、最近では常に悪いので、変化が感じられない。	
	一般小売店[高級精肉](企画担当)	販売量の動き	・伊勢志摩サミットを控え、夜明け前の静かな雰囲気である。サミットが無事に終了し、その後の地元の活性化を期待している。	
	一般小売店[結納品](経営者)	販売量の動き	・個人の消費が上向かず、厳しい状況が続いている。	
	一般小売店[薬局](経営者)	来客数の動き	・最近はずっと悪い状態が続いているので、業況としては変わらない。駅前のテナントビルに立地しているが、来客数が極端に減少し売上が確保できない。他の店主に聞いても悪いとのこと、原因は不明である。特に土・日曜日は最悪である。	
	一般小売店[生花](経営者)	販売量の動き	・お彼岸用の商品や入学・卒業、合格祝い等のギフト商品は、例年どおりの販売量や販売単価で、ますますとなっている。	

百貨店（売場主任）	単価の動き	・ターミナル駅前に大型ビルがオープンし、見物に来る人が増え、来客数も増加している。客単価は高くないが、それなりの売上を確保している。
百貨店（経理担当）	お客様の様子	・景気が低迷しているので、消費者は生活防衛策として、レジャー・サービス関連の消費を抑制している。
百貨店（経理担当）	お客様の様子	・衣料品の動きが相変わらず鈍い。先行きへの不安感で、購買意欲が上向かない。
百貨店（販売担当）	販売量の動き	・売れ筋は中低価格帯という傾向に変化はないが、販売量は前月と同様に増加している。ギフト需要の高まりもあるが、百貨店でのイベントも重なり、自家需要が増加している。しかし、売上の大幅な増加にはつながっておらず、状況は厳しい。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・各企業とも売上が伸びず、景気はマイナス方向に向かい続けている。中国経済の減速は、原油産油国や新興国への影響が大きい。我が国からの輸出も徐々に減っている。企業はベースアップに慎重となり給与は上がらず、店の購入額をみても、節約志向が一層徹底している。近くのスーパーも、非食品売場の売上が悪く、安売りに徹している。売場では、正社員を減らしてパート・アルバイトが担当し、営業成績を更に悪化させている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・ちょっとしたきっかけがあれば、来客数は増える。逆に他で何かがあれば、そちらへ向かう。購買意欲がないわけではなくお買得な商品や自分にプラスとなる商品を求めて動いている。日常の買物には、金を使いたくないようである。
スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・売上は、店舗全体で前年同期の93%、衣料品は87%と天候の影響を受けている。住居関連が92%、食品が96%程度と、数字としては相変わらずである。
スーパー（営業企画）	お客様の様子	・来客数の微減と客単価の微増の傾向は、年明け以降変化がない。マイナス金利の影響も、個人消費にはほとんどないようである。客は、生活必需品に対してはよりお買得な品物を求める一方、し好品には支出をする。
スーパー（企画・経営担当）	販売量の動き	・季節商材では食材が冬物から春物へと変わっているが、購入量には変化がみられない。
スーパー（販売担当）	販売量の動き	・来客数は微増、購入点数は微減が続いている。売れた商品を補充する毎日の商品発注量としては、大きくは変わらない。
スーパー（人事担当）	来客数の動き	・商品価格によって店を渡り歩く客は多くない。
スーパー（商品開発担当）	来客数の動き	・来客数は前年同期の97.8%と、依然として苦しい状況が続いている。客単価は、前年比102%と好調を維持しているため、来客数をどう伸ばすかが重要である。
コンビニ（企画担当）	競争相手の様子	・競合先の来客数は堅調である。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・たばこの値上げに伴う特需は一部にあるが、相変わらず来客数は前年同期をやや下回る状況である。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数、客単価や購入点数にはそれぞれ変動があるものの、最終的な全体としての売上には、あまり変化がない。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・各店舗の売上は、ほぼ前年と同程度である。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・全般的に1品単価が上昇してきているが、販売数は減少している。
乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・今年は積雪が少なく、雪による自動車事故は少なかった。钣金塗装に関しては、売上が少なくなっている。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・消費拡大につながるような要因もなく、景気としては相変わらず活気がない。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客との会話では、どちらかといえば後ろ向きの暗い話題が多いが、販売量はそれほど減少していないので、何とも言えない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・大きく変動している印象はない。株価の下落や急な円高の影響も、足元の業況への波及は少ない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・決算期のイベントを行っても客はなかなか集まらず、販売台数は、前年同期比で減少が続いている。
住関連専門店（営業担当）	単価の動き	・新築住宅やマンションの動きは横ばいである。設備投資や公共工事関連も同様である。大規模改修やリフォーム工事だけが増えている。

その他専門店 〔書籍〕(店員)	来客数の動き	・卒業や新入学のシーズンを迎え、関連商品が順調である。春休みに入って学生の来店が増え、前年同期をわずかに上回る状況が続いている。	
その他小売 〔ショッピングセンター〕(経理担当)	販売量の動き	・売上高は前年比で6.1%の増加、来客数は前年比で5.0%のマイナスが続いている。	
高級レストラン (役員)	来客数の動き	・卒業、入学や歓送迎会等で宴会需要が増える月であるが、来客数は前年並みで推移している。	
一般レストラン 〔パン・カフェ〕(経営)	来客数の動き	・3月は様々なイベントがあり、菓子業界では年間でも売上が2番目に高くなる月である。来客数は例年並みに多い。	
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・思ったほど気温が上がらないためか、来客数は引き続き減少が続いている。	
スナック(経営者)	来客数の動き	・マイナス金利が大きく影響している。遊興費等はますます抑えられて、客足が悪くなっている。	
その他飲食〔仕出し〕(経営者)	販売量の動き	・年度末で景気の良い悪いとは関係なく販売量は安定しているが、消費を取り巻くムードは微妙に重い。	
観光型ホテル (販売担当)	来客数の動き	・宿泊者数は今月も予算をクリアし、年間目標にも達したが、宴会付きの団体客が少ない。宿泊者数が増えても、館内での飲食がなければ売上増加にはつながらない。個人客も素泊まりや朝食のみの利用が多く、食堂の客は減る一方である。	
旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・3月は異動や退職の増える時期であり、新規予約の動きは鈍い。ゴールデンウィークの問い合わせもさっぱりで、連休明けや夏休みの問い合わせが入っている状況である。気候が暖かくなって、商品を具体的に検討している様子なので、出発時期間の駆け込みに期待は持っている。	
旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・国内テーマパークの旅行商品は数字も順調であるが、海外を含めて、期間の長い旅行商品があまり売れていない。	
タクシー運転手	お客様の様子	・歓送迎会等の集まりが増え、夜の入出も多くなっている。月末になって花見客もかなり増えており、売上もやや上昇し、良い状況が続いている。	
タクシー運転手	来客数の動き	・2～3か月前は飲食店への客足が少ない時期だったので、それに比べると良い状況である。前年同月比でも多少は上向いており、引き続き良くなってきている。	
通信会社(企画担当)	販売量の動き	・異動の時期で、新規契約数、解約数共に増加している。契約コースは中の下クラスの商品が多く、景気としては、良くも悪くもない。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・悪いままの状態から変わらない。前年の年度末に比べると、客の問い合わせが明らかに減っており、活気が感じられない。	
ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・今月の入場者数は、予算は下回っているが、前年同期よりも多くなっている。寒冷地の1箇所を除いて、そこそこの入場者数を維持しているので、景気としては変わってない。	
その他サービス 〔介護サービス〕(職員)	お客様の様子	・高齢者向け、障害者向け共に、グループホームの利用者数には変化がない。就労支援施設も利用者が定員限度に達しており、これ以上の増加は見込めない。	
その他サービス 〔介護サービス〕(職員)	販売量の動き	・営業人員を増やしてレンタル用品販売を強化しているが、解約もあり売上増加には、なかなかつながらない。	
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・決算月であるが、選挙対策のため消費税増税の見送りという話が出てきた影響で、若干の買い控えが起きている。	
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・販売量は横ばいである。	
住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・新築住宅着工の話は相変わらず少ない。リフォーム物件でも、総工事費は小さくなってきている。	
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕(経営者)	お客様の様子	・買主側の予算額が変わらない。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	単価の動き	・3月は、卒業や転勤等で紅白まんじゅうが売れる時期であるが、販売数は例年並みで、1品単価が落ち込んでいる。前年秋ごろから客単価は下落傾向であるが、今年に入ってその傾向が強まっている。

商店街（代表者）	販売量の動き	・相変わらず、客単価が低く、販売量や売上高の改善につながらない。
商店街（代表者）	お客様の様子	・客先のホテルでは、稼働率が前年よりも少し下がっている。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	来客数の動き	・3月は、例年ならば人の動きが増えて来客数も増えるが、今月は減少している。この時期は贈答品需要が中心となるが、ギフトに対して消極的で金を使わないため、景気が停滞している。
百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・高額品とインバウンド関連の売上は好調に推移しているが、ボリュームゾーンの購買が減少している。全体でみると前年並みか、やや下回る水準である。
百貨店（販売担当）	お客様の様子	・春は購買意欲が高まる時期であるが、実需品には動きが出ない。中間所得層の消費が、先行きへの不安から停滞しており、必要最小限の支出しか行わない。
百貨店（販売担当）	来客数の動き	・来客数、売上共に前年同期を下回っている。インバウンドの動きが落ち着き始め、好調であった富裕層の消費にも、やや陰りが見え始めている。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・中小小売店では、野菜の高値も影響し、全く売上が維持できない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は、前年同期を上回ってはいるが、その幅がかなり縮小している。し好品の菓子や酒の売上も、前年比でやや悪くなっている。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・今年は、こうなごが禁漁となり、いちごも価格が高止まりで、客に訴求する旬の食品が少ない。
コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・前年実績を下回る店舗が、徐々に始めている。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・街全体で夜間の人出が減っており、来客数も前年同月比ではマイナスとなっている。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・スーパーやドラッグストアでは、一部の商品で、競合店対策のため値下げ、という表示を見かける。価格差が一層広がり、売上に影響している。
衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・商品が動かない。国産品は、供給側が生産を縮小して物自体が少なくなっているが、全体的に動きが悪い。
家電量販店（店員）	来客数の動き	・この数か月、来客数が前年同期に比べて落ちてきている。景気が良くなっているとは思えない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3月は決算の最終月であるが、店頭にはぎわいが感じられない。法人需要に支えられているが、個人客の動きが悪い。客の話からは前向きには感じられない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量は、過去最低水準に落ち込んでいる。キャンペーンでテコ入れし、月末には例年並みに持ち直したが、予算内でなければ買わない客が増えており、オプションもそこまで削るかというほど最低限に抑える客が非常に多い。特に、家族層の客にはその傾向が強い。
その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	来客数の動き	・来客数がかかなり減っている。春休みに入ってレジャーに金を使う機会が増えるためか、購買を控える客や下見だけの客が多い。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・客の顔ぶれに変化はなく、新規客の来店がない。職業による二極化があり、大企業社員や公務員に比べて、一般サラリーマン層の飲食需要には厳しいものがある。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数は、前年同月比で8～10%減少している。景気がやや悪化していることが、鮮明になっている。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・直前のキャンセルが増えている。何箇所も同時に予約して直前になって取り消す客がみられる。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・年明けから続いてきた12月までの旅行の問い合わせや見積りが、2月中旬以降は急に止まっている。ゴールデンウィーク明けの商品の受注や夏の旅行の問い合わせも、増加がみられない。
旅行代理店（経営者）	それ以外	・旅行業界では、少子高齢化による需要の減少と、IT利用による実店舗での申込の減少で、中小代理店からの客離れが進み、数社の大規模業者に絞られていく。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売量が少し減少傾向にある。
パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数や客単価がやや悪くなっている。

		その他レジャー 〔スポーツレ ジャー紙〕(広 告担当)	単価の動き	・4月分の販売量が落ちている。
		理美容室(経営 者)	来客数の動き	・暖かくなって忙しくなるはずの時期であるが、あまり客が来ない。
		美容室(経営 者)	それ以外	・年間で最も忙しい正月ごろと比べると、少し悪くなっている。
		美容室(経営 者)	お客様の様子	・当地域では若い女性の人口が減っている。客層の人口が減ることは、問題である。
		設計事務所(職 員)	お客様の様子	・景気の良い話は聞かない。
		その他住宅〔住 宅管理〕(経営 者)	お客様の様子	・月極め駐車場は、1年を通じて客の出入りがあるが、毎年4月には満車になる。しかし、今年は若干の空き物件があり、景気の回復には、まだ時間がかかる。
	悪く なっている	商店街(代表 者)	お客様の様子	・年金生活の高齢者は、節約志向が強まっている。
		一般小売店〔酒 類〕(経営者)	来客数の動き	・来客数がゼロという店が、数多く出てきている。
		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・イベントを実施しているにもかかわらず、来客数が激減している。
		理容室(経営 者)	お客様の様子	・相変わらず、景気の良い話は聞かない。消費税増税が気掛かりで、余分な金は使わなくなっている。
		住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・広告を出しても客に動きはなく、来客数につながらない。
企業 動向 関連 (東海)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	食料品製造業 (経営企画担 当)	受注量や販売量 の動き	・春の新商品の導入が順調に進んでいる。伊勢志摩サミット開催を控え、地元の消費ムードも盛り上がりつつある。
		化学工業(営 業)	受注価格や販売 価格の動き	・ナフサ価格が下落傾向であり、購入している原材料の価格も低下している。
		電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・当社のオリジナル商品の販売が増加している。
		輸送用機械器具 製造業(品質管 理担当)	取引先の様子	・客先の設備投資が増えてきている。
		輸送業(エリア 担当)	受注量や販売量 の動き	・引っ越しのシーズンであるが、例年に比べると受注件数が多い。法人の移転が増えているので、会社関係の需要が増えている。
		輸送業(エリア 担当)	受注量や販売量 の動き	・貨物量が前年同期より4.1%増加しており、荷動きが良くなってきている。
		新聞販売店〔広 告〕(店主)	受注量や販売量 の動き	・折込チラシの受注量が、想定よりも増加している。
		その他サービス 業〔ソフト開 発〕(社員)	取引先の様子	・公共系案件の状況はあまり変わらないが、一般企業向けの案件が増えてきている。
	変わらない	化学工業(総務 秘書)	それ以外	・国内では震災から5年、海外では欧州のテロや米国大統領選、中国の領土問題等が話題となっているが、いずれも足元の景気には影響を及ぼしていない。
		窯業・土石製品 製造業(社員)	取引先の様子	・電気炉や機械設備の製作、メンテナンスの依頼先は2か月以上先まで予約が一杯で、強く依頼をしないと後回しになってしまう。仕事量は十分にあるが、若くて役立つ人材を確保できないことが課題である。
		鉄鋼業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・例年は季節要因で受注量が増える時期であるが、今年は、月を追って数%の減少が続いている。
		一般機械器具製 造業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・夏向けのスマートフォンの設備投資には、増加しそうな動きがあまりみられない。
		電気機械器具製 造業(企画担 当)	受注量や販売量 の動き	・米国の景気はやや上向きではあるが、新興国の状況が思わしくない。中国や欧州の情勢も不安定で懸念をしている。
		電気機械器具製 造業(営業担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・期末になっても駆け込みの依頼が少なく、引き続き減少傾向となっている。
		輸送用機械器具 製造業(研修担 当)	取引先の様子	・大手商社が軒並み赤字で、当社の親会社も厳しい状況に置かれている。

輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・完成車メーカーからは、国内向け部品はやや増加し、海外向け部品の注文量は、やや減少すると聞いている。	
輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量や販売量は、半年前の計画値からほぼ変わっていない。	
建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・マイナス金利の影響は、業種によって差があり、プラスにもマイナスにも働いているが、現時点では、全体で平均すると変わらない。	
建設業（営業担当）	取引先の様子	・年度末で入札等の公共事業も落ち着く。市場には徐々に成長余地がなくなっているのが、現在の事業に加えて、何かしなくてはいけない。	
輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内貨物、輸出入貨物共に、ここ数月は大きな変化がない。	
輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・比較的荷動きが活発になる時期ではあるが、例年に比べると低調な動きが続いている。	
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・物流量は、変化なく推移している。	
通信会社（法人営業担当）	競争相手の様子	・新年度向けの案件が急増し、入札や客の要望への対応で忙しい時期であるが、競合他社や取引業者のレスポンスは早く、案件が山積みという感じは見受けられない。	
通信会社（法人営業担当）	それ以外	・中国、アジア経済の減速や米国経済の不透明感、春闘妥結額の前年からの低下や消費税増税等により、心理的な負担感は増えている。	
金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・取引先の中小製造業では、燃料や原材料コストの低減で利益の改善傾向が続いている。足元の企業収益は、総じてそれほど悪くない状況である。	
金融業（企画担当）	取引先の様子	・株高、円安の恩恵を受けていた個人投資家は、最近の相場で動きが止まってしまい、消費意欲も一段落となっている。	
企業広告制作業（経営者）	それ以外	・国民には景気が良くなるという期待感は弱い。東京オリンピックに向けて、東京だけが好景気となり地方は停滞する。地方でも、神戸は人口が伸び悩み、博多では人口が増加している。景気回復の鍵は、地方再生にある。	
広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・イベントに広告予算をかける客は多少は増えているが、紙媒体等の受注は、わずかながら減少し始めている。	
公認会計士	それ以外	・円安の為替差益や輸出型企業の好調を除けば、景気はそれほど良くない。特に、中小企業の収益は、原材料価格の値上がりや人材不足によるコスト高で厳しい状況である。原油安といった好材料もあるが、根本的な解決要因ではない。	
行政書士	受注量や販売量の動き	・貨物の動きが変わらない。	
会計事務所（職員）	取引先の様子	・金利引下げの影響が、プラスとマイナスの両面に出始めている。プラス面は、新規住宅等の着工件数や増改築が増加している。マイナス面は、賃貸アパート、倉庫や店舗の空き物件が増加している。	
会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・引き続き客先の業績は好転しているが、新しく融資を受けて設備投資や事業拡大等をするような動きはない。	
その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	競争相手の様子	・大変忙しい状態が続いている。景気全体としては、まだら模様でそれほど良くはない。若干円高になって、やや厳しくなっているように見受けられる。	
やや悪くなっている	食料品製造業（営業担当）	競争相手の様子	・飲料業界は、市場価格の低迷により利益が確保しづらい。景気が上向きにならず、需要の回復は厳しい。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年度末は受注量・販売量共に増加する時期であるが、今年は例年を下回っており、景気はやや悪い。
	出版・印刷・同関連産業（代表）	受注価格や販売価格の動き	・広告掲載料の1段当たりの単価が、前年に比べ5～10%下落している。かなり料金を下げないと出稿に結び付かないケースが増えている。
	化学工業（人事担当）	それ以外	・海外の経済情勢やテロ等の要因で、企業の設備投資や個人の株式等への投資が、安心して行えない状況となっている。
	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・新年度に向けての物件の動きが鈍いという声が多い。特に、川上である材料業者での荷動きが悪いと聞く。

		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・世の中には不安材料が多く、政治も不安定なため、新しく設備投資をしたり増築やリフォームをしようという動きが生まれず、受注量が増えない。
		輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・発送便、到着便共に増加はしているが、受注単価が安くコストを吸収できないため利益は減っている。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車関連産業を中心に、例年に比べると生産水準が比較的低下している。
	悪くなっている	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量が減少し、製品価格も低下している。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
(東海)	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・法人客や役所・学校関係の送別会でスタッフ利用が多く、業況は良くなっている。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・3月の求人数は過去5年で最高となっている。前年同月比で120%、3か月前と比較すると約130%と増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月比で、新規求人数は9か月連続、有効求人数も7か月連続の増加となっている。前月の有効求人倍率は1.48倍にまで改善し、今月も改善が見込まれる。
		民間職業紹介機関（窓口担当）	求職者数の動き	・例年であれば派遣スタッフ登録数の増加が見込める時期であるが、今年は登録数の動きが落ち着いている。
		民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・新卒採用や中途採用に対する企業の意欲は、依然として高い。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・企業での正社員の採用活動は、相変わらず活発である。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・客先である製造業での要員募集の動きは、3か月前と比較して特段変化はなく、比較的好調を維持している。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・例年に比べて求人数が少ない状況が続いている。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	雇用形態の様子	・国内自動車生産における雇用情勢は、以前と変わらず、人材不足が続いている。
		職業安定所（所長）	それ以外	・新規求職者数、新規求人数共に、3か月前と比較すると2割程度増加している。前年同月比では、新規求職者が微増で、新規求人数は25%ほど増加が続いている。
職業安定所（職員）		求人数の動き	・業種によっては人手不足が続いているが、総じて求人には一服感がある。求人募集時の賃金を、低く抑えたいという相談が散見される。	
職業安定所（職員）		それ以外	・求人募集時の賃金水準は、あまり変わらない。	
職業安定所（職員）		雇用形態の様子	・新規求人数は前年同月比で増加が続き、有効求人倍率も高水準となっているが、非正社員での求人割合が高くなっている。	
職業安定所（職員）		求人数の動き	・医療・介護分野での人手不足は、慢性化している。小売業界でも、パートを中心に募集が増加を続けている。求人募集時の採用意欲も、引き続き全産業で見受けられるが、パート求人が前年比で15%増加しており、正社員の求人は、相変わらず厳しい状況である。	
	民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・年度末の予算消化等もあり、採用決定への動きは強まっているが、人事担当者が新卒採用に追われ、採用のスピードはやや鈍化している。	
	その他雇用〔広告代理店〕（求人広告担当）	求職者数の動き	・ここ半年ほどは、あまり大きな変化はない。	
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・旅行業界を中心に、欧州でのテロの影響が表れている。直接的な影響だけでなく、広告、出版、印刷業界等も巻き込む範囲なものとなる。長引くと来年度の採用計画にも影響する。	
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・慢性的な人手不足の医療・介護分野と、人材の流動性が高い流通・小売業界では、パート求人数に一定の伸びがみられるが、全体としては厳しい状況にある。	
	悪くなっている	-	-	-